

eBASE株式会社

2017年3月期第2四半期

決算と事業報告

2016年11月

目次

I. 決算概要

■ 第2四半期連結売上高の推移	・ ・ ・ ・ ・ P4
■ 第2四半期経常利益の推移	・ ・ ・ ・ ・ P5
■ 第2四半期連結業績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P6
■ 第2四半期連結貸借対照表	・ ・ ・ ・ ・ P7

II. 事業の概況

■ 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業	・ ・ ・ ・ ・ P9
・ 種類別販売実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P10
・ 業界別売上実績の推移	・ ・ ・ ・ ・ P11
・ 食品業界FOODS 今期施策とその進捗	・ ・ ・ ・ ・ P12
・ 日雑業界GOODS 今期施策とその総括	・ ・ ・ ・ ・ P13
・ 2017年3月期 その他ソリューション別施策と進捗	・ ・ ・ ・ ・ P14
■ 第2四半期セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS事業	・ ・ ・ ・ ・ P15
■ 2017年3月期の連結業績予想	・ ・ ・ ・ ・ P16
■ 通期の資本状況（資産、ROE及びROA等）の推移	・ ・ ・ ・ ・ P17

2017年3月期第2四半期決算概況 (2016年4月～2016年9月)

I. 決算概要

eBASE事業

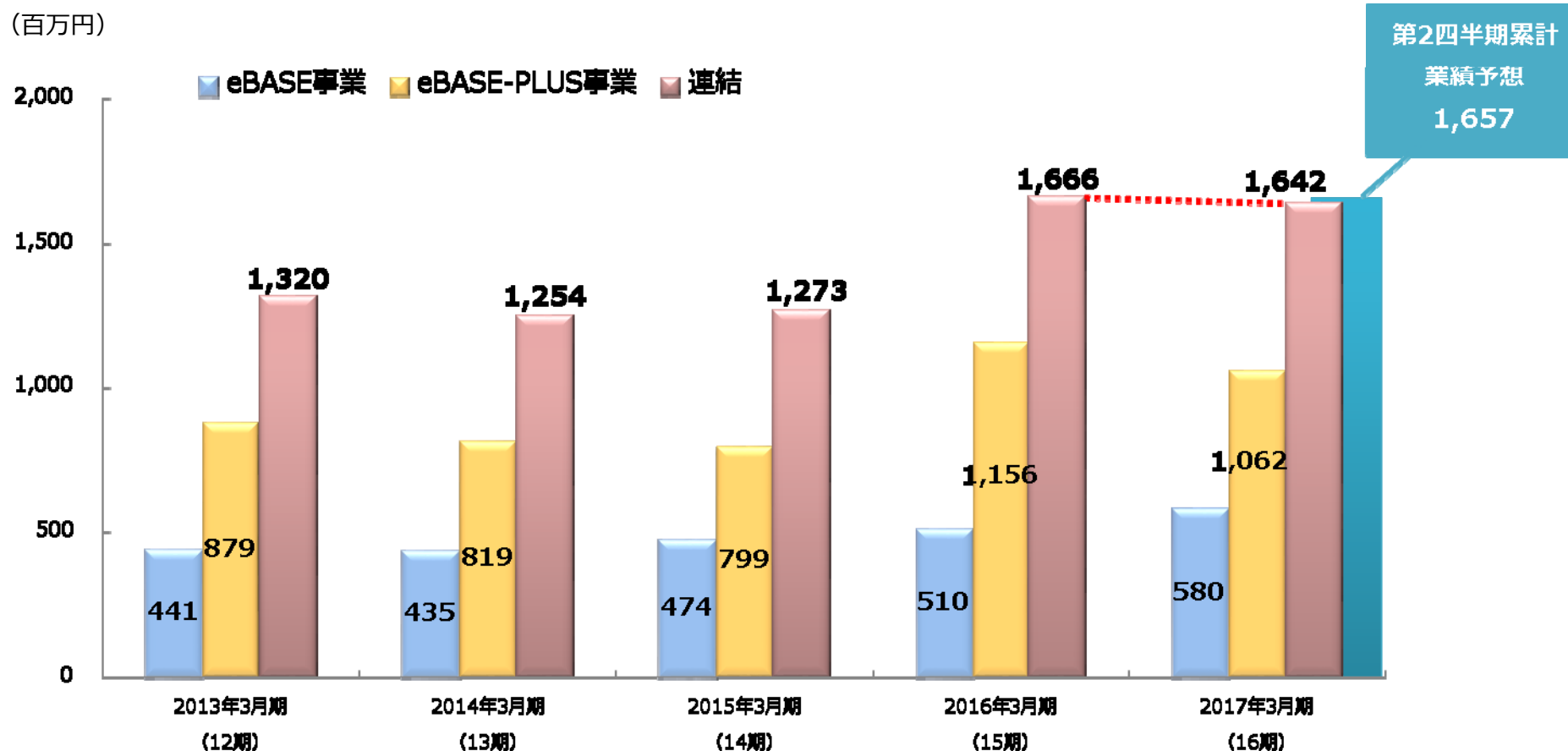
eBASE事業は、様々な業界ニーズ（食品・工具・住宅・日雑業界等）に向けた統合商品情報管理パッケージソフトウェアを自社開発し、**オンプレミスやクラウドサービス**によって顧客へ提供する利益指向型の事業モデルです。

又、コンテンツマネジメントシステム（CMS）やマスターデータマネジメントシステム（MDM）の**開発環境ミドルウェア**として幅広い用途での活用にも展開しています。

eBASE-PLUS事業

eBASE-PLUS事業は、顧客企業ニーズに応えたシステム構築・開発・サポート等の売上指向型の「**IT開発アウトソーシングビジネス（外部委託）**」の事業モデルです。

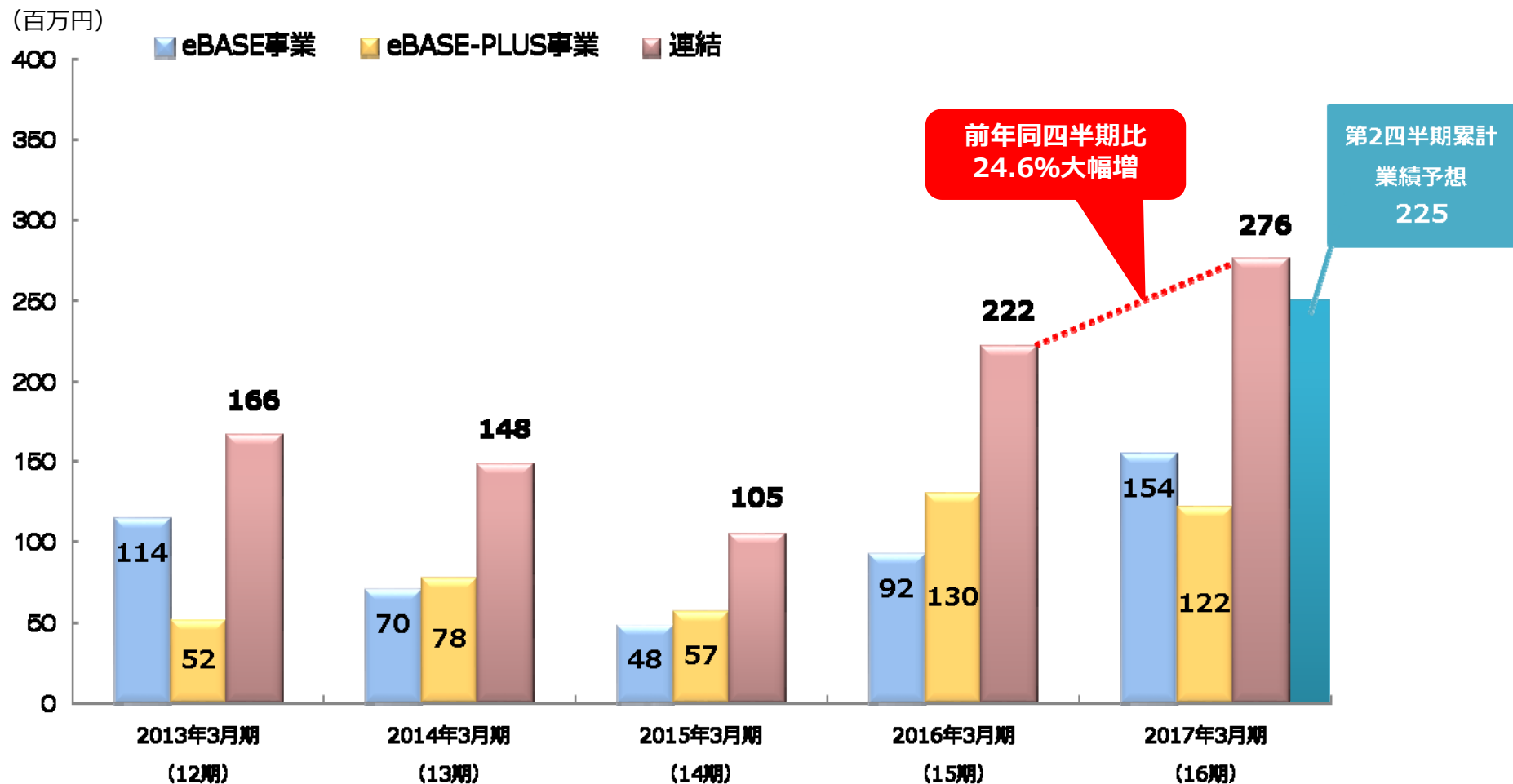
I. 第2四半期期決算 連結売上高の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2015年3月期（第14期）第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

I. 第2四半期期決算 連結経常利益の推移



注1) セグメント間取引については、相殺消去しております。

注2) 2015年3月期（第14期）第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

I . 第2四半期連結業績の推移

(単位：百万円)

	2013年3月期 (第12期)	2014年3月期 (第13期)	2015年3月期 (第14期)	2016年3月期 (第15期)	2017年3月期 (第16期)
売 上 高 (eBASE事業) (IT開発アウトソーシングビジネス (移管分)) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	1,320 (441) (48) (857) (△26)	1,254 (436) (-) (821) (△3)	1,273 (473) (-) (799) (△0)	1,666 (510) (-) (1,156) (△0)	1,642 (580) (-) (1,063) (△1)
営業利益	160	146	101	225	281
経常利益 (eBASE事業) (IT開発アウトソーシングビジネス (移管分)) (eBASE-PLUS事業) (セグメント間取引)	166 (114) (15) (37) (△0)	148 (71) (-) (77) (△0)	105 (48) (-) (57) (△0)	222 (92) (-) (130) (△0)	276 (154) (-) (122) (-)
親会社株主に 帰属する当期 純利益	99	89	66	141	184

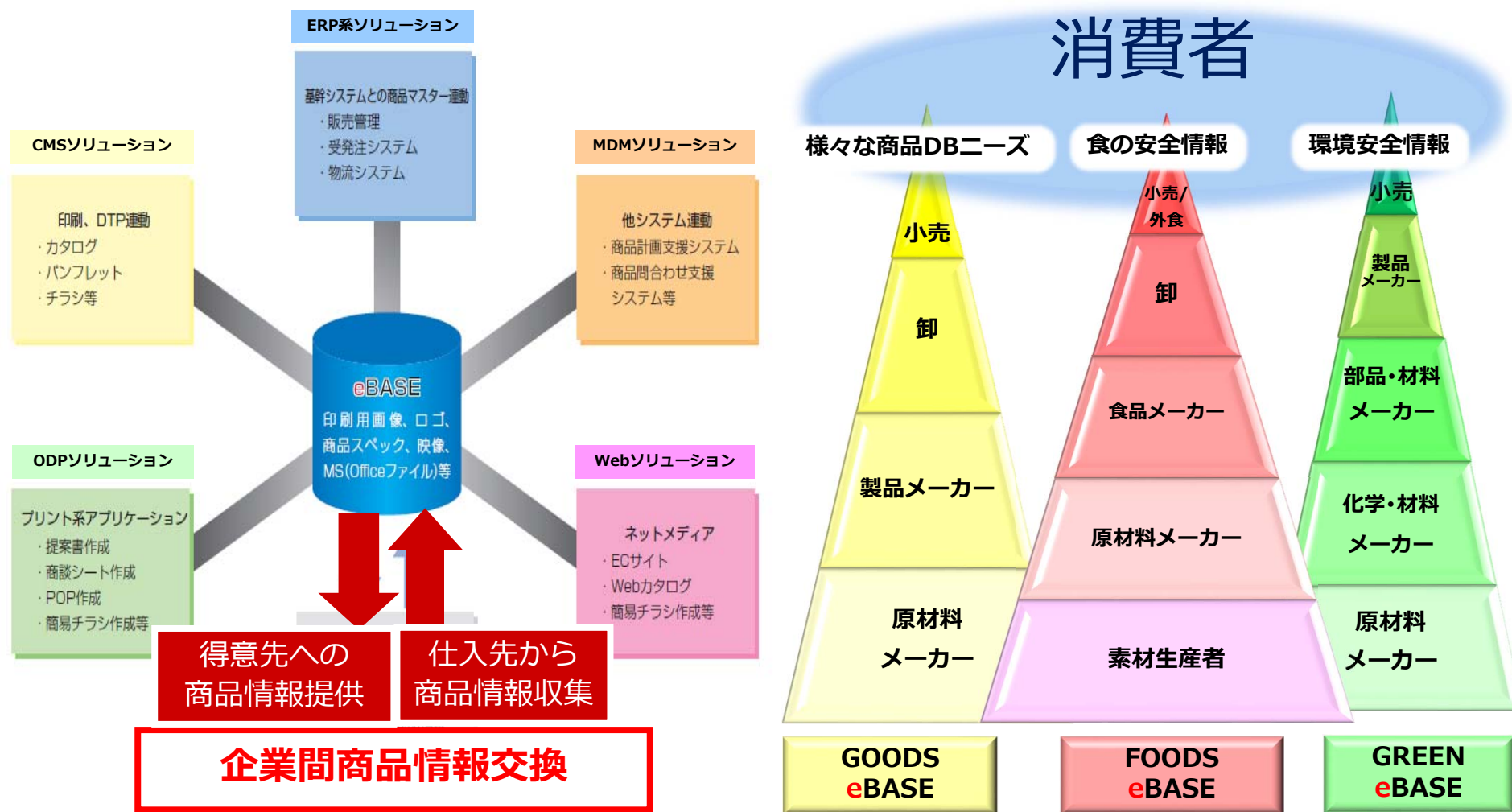
I . 第2四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前期 (2016年3月末)	当期 (2016年9月末)	前期末比	
流動資産	2,185	1,695	△490	現金及び預金△158 受取手形及び売掛金△233
固定資産	576	1,088	511	
(有形+無形資産)	(34)	(43)	(9)	のれん△0
(その他)	(542)	(1,045)	(502)	投資有価証券+ 503
資産合計	2,762	2,783	21	
流動負債	344	265	△79	未払法人税等△24
固定負債	-	-	-	
負債合計	344	265	△79	
株主資本合計	2,401	2,493	92	利益剰余金+ 90 (配当金支払△93) (親会社株主に帰属する四半期純利益の計上+184)
新株予約権	16	22	6	
純資産合計	2,417	2,518	100	
負債・純資産合計	2,762	2,783	21	

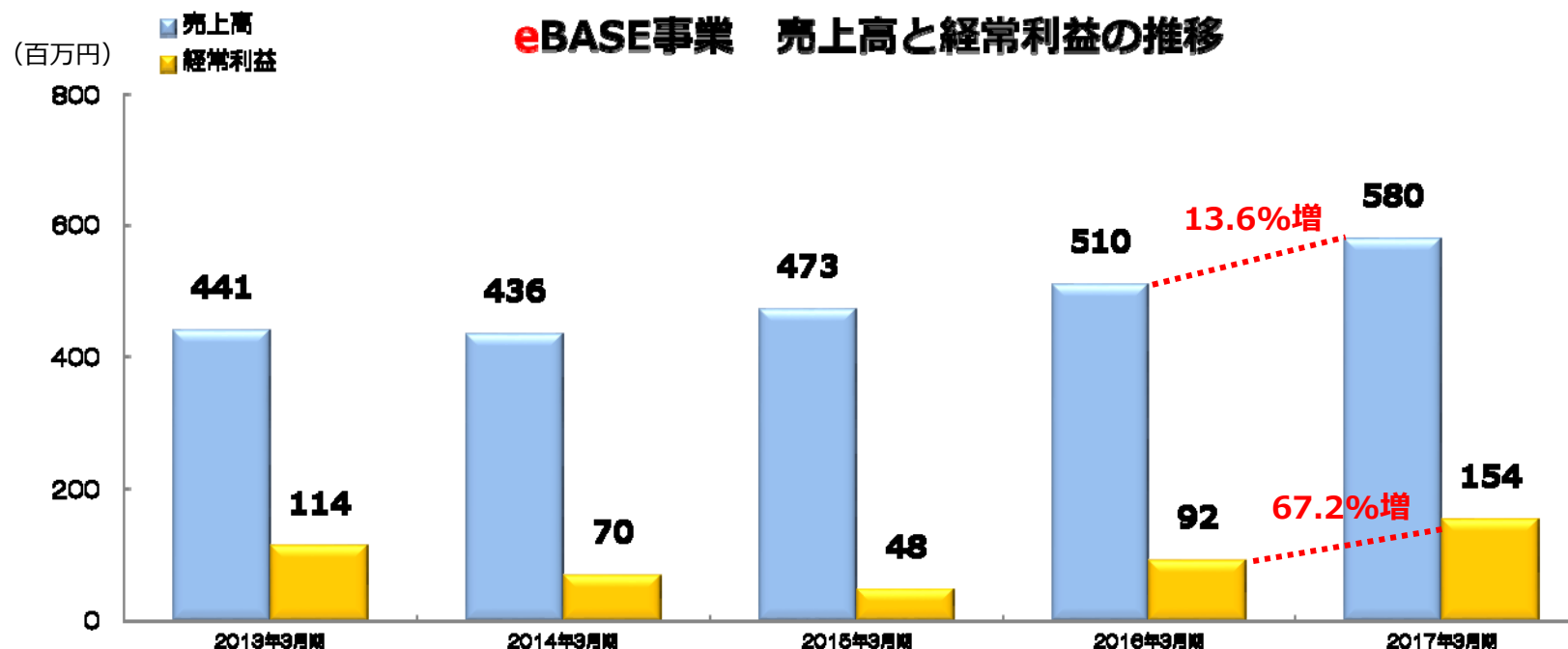
Ⅱ. 事業の概況

eBASE事業のポジショニングと業界別の商品DB交換ビジネスモデル



Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

eBASE事業（パッケージソフトビジネス）

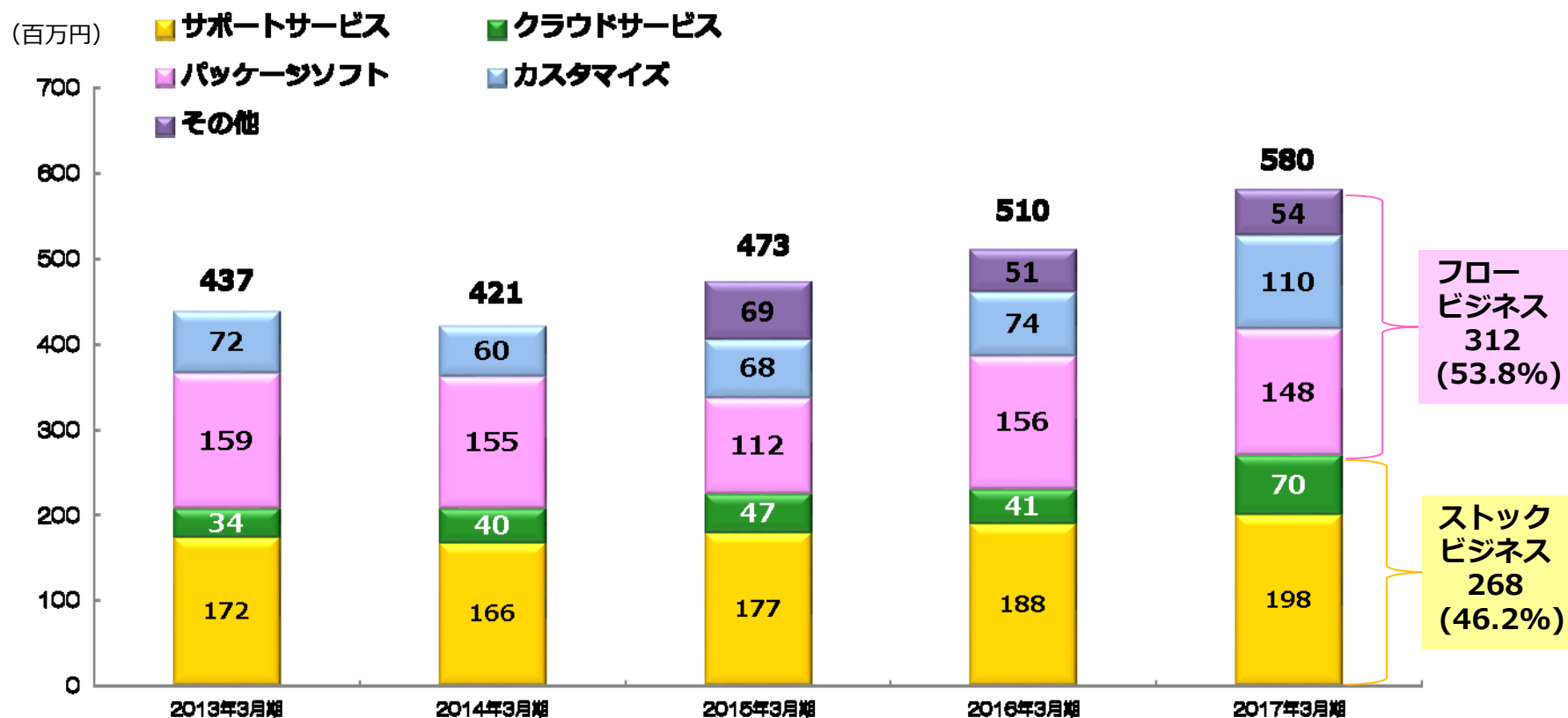


総括

- ・ 第1四半期で前年度の検収遅れ案件の回収
- ・ 食材えびすの推進及び、大手小売業で食材えびすデータを利用した商品マスターデータマネジメント（MDM）システムの受注
- ・ 顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの受注が増加

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/ eBASE事業

種類別販売実績の推移



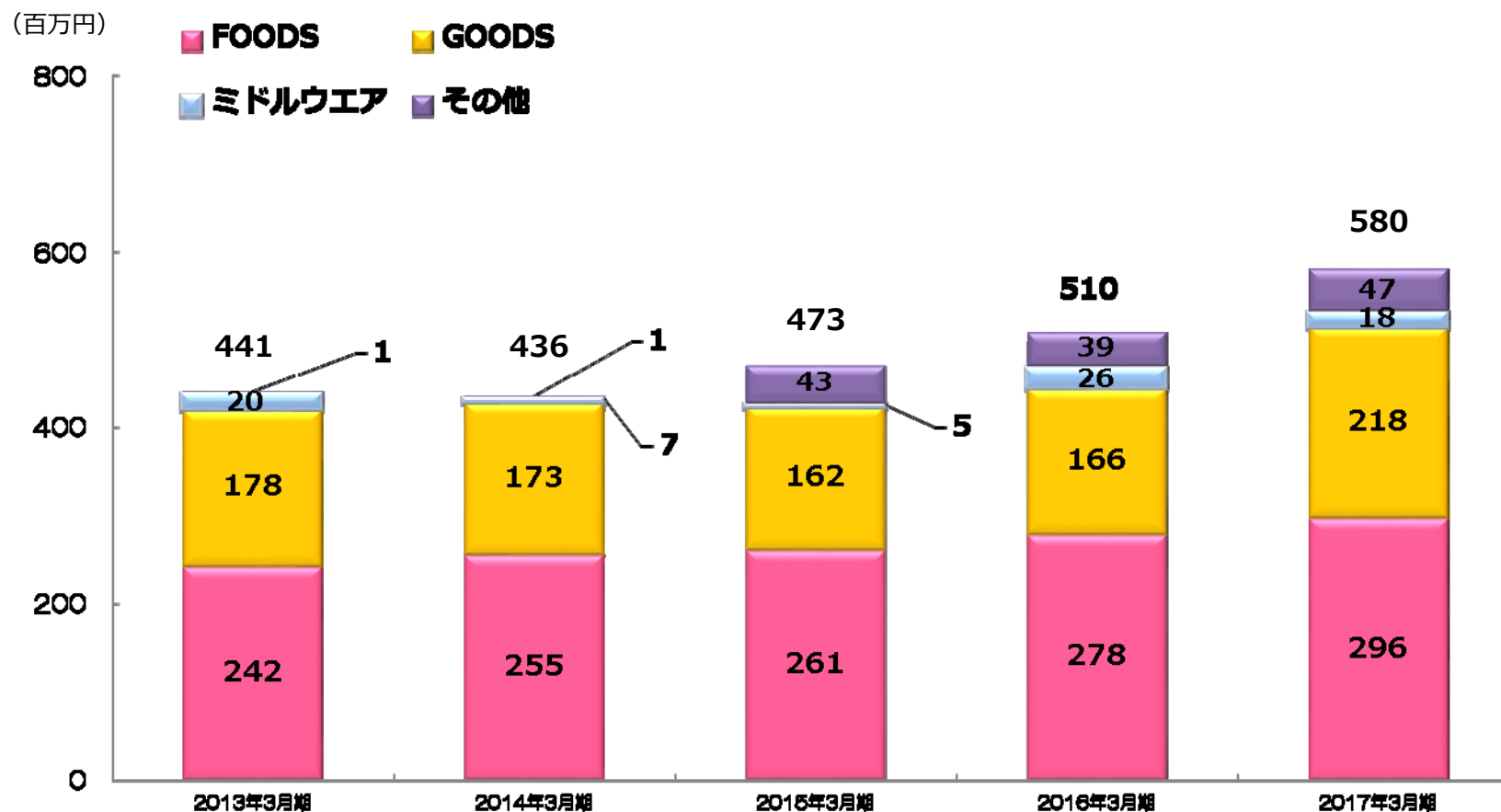
注1) 2013年3月期 第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管しております。

注2) 2013年3月期以前の「IT開発アウトソーシングビジネス」については、除いています。

注3) 種類別販売実績について、2016年3月期より一部クラウドサービスの計上方法を変更しております。また、変更に伴い2015年3月期以前の計上方法も変更したと仮定して算定しております。

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/ eBASE事業

業界別売上実績の推移



注1) 2013年3月期 第3四半期よりeBASE事業の「IT開発アウトソーシングビジネス」をeBASE-PLUS(株)に移管しております。

注2) 2013年3月期以前の「IT開発アウトソーシングビジネス」については、除いています。

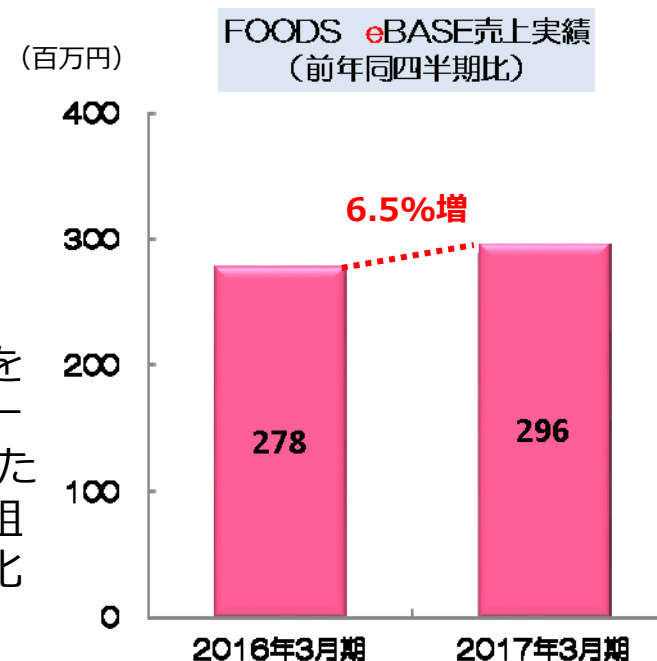
Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

食品業界FOODS 今期施策とその進捗

概要

食品業界向け統合商品情報管理データベース

「FOODS eBASE」は、適正な食品表示、食の安全や安心を実現すべく、生産から流通までのサプライチェーン全体で一貫した食品の商品情報共有が可能です。法令遵守に基づいた消費者への正確な品質表示が行え、食の安全安心への取り組みが正確にスムーズに行え、且つ、管理業務を大幅に効率化できる食品関連企業向け業務パッケージソフトです。



2017年3月期 施策	その進捗
・ 現事業モデルの推進 ・ クラウド&ストックビジネスの推進 「NBセンター」のデファクト化を 継続推進と販促強化 ・ eB-PointServiceの継続推進	・ 売上実績（2Q）：296百万円 ・ eBASE商品情報交換の普及によりニーズが底堅く推移 ・ 機能強化やユーザビリティ向上開発を行うと共に段階的リリースに努める ・ 食品表示法対応の機能強化 ・ 食材えびすの推進 ・ 食材えびすデータを利用したMDMシステムの受注

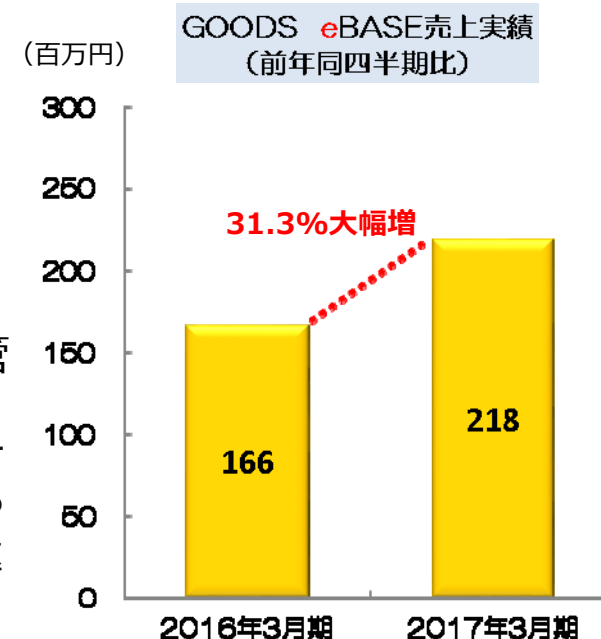
Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/eBASE事業

日雑業界GOODS 今期施策とその進捗

概要

統合商品情報管理データベース

「GOODS eBASE」は、あらゆる業界の商品情報管理を一元管理できるコンテンツマネジメントシステムです。文字・画像・図形情報等を含む商品マスタや仕様書管理が可能な業務パッケージソフトです。日用品や工具、文具、アパレル、住宅部品や自動車部品など、あらゆるジャンルの商品情報を管理し、効率的な商品情報収集・管理・配信環境の構築が可能です。



2017年3月期 施策

- ・ 特化した業界（工具業界・住宅業界・日雑業界等）への攻略アプローチを継続
- ・ 受託開発型商品DBでデファクト獲得の推進
- ・ スマホ、タブレット対応での「ミドルウェアeBASE」の機能強化
- ・ GREEN eBASE採用企業からの「ミドルウェアeBASE」を利用した深耕営業を推進

その進捗

- ・ 売上実績（2Q）：218百万円
- ・ 業界共通の課題解決に向けたeBASE利用の拡販に努める
- ・ 住宅業界でのカタログコンテンツ管理システムの引き合いが増加
- ・ 顧客別にカスタマイズした商品DBソフトの受注が増加
- ・ 第1四半期で前年度検収遅れ案件の回収

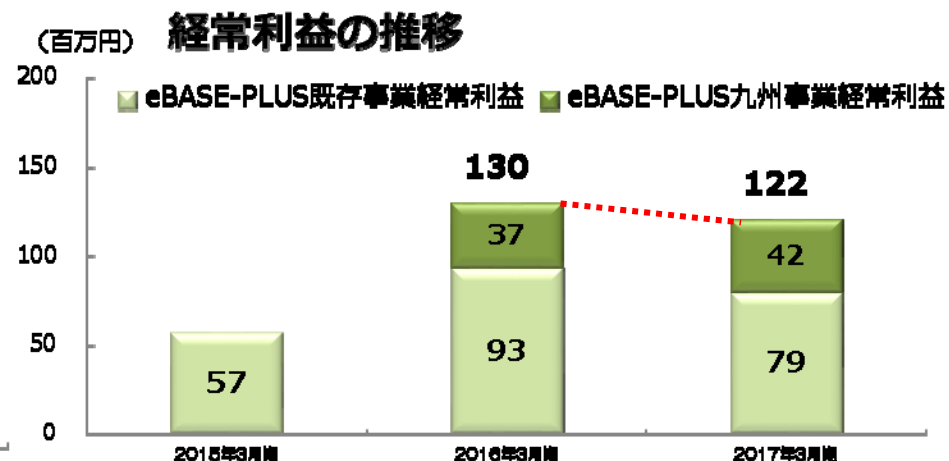
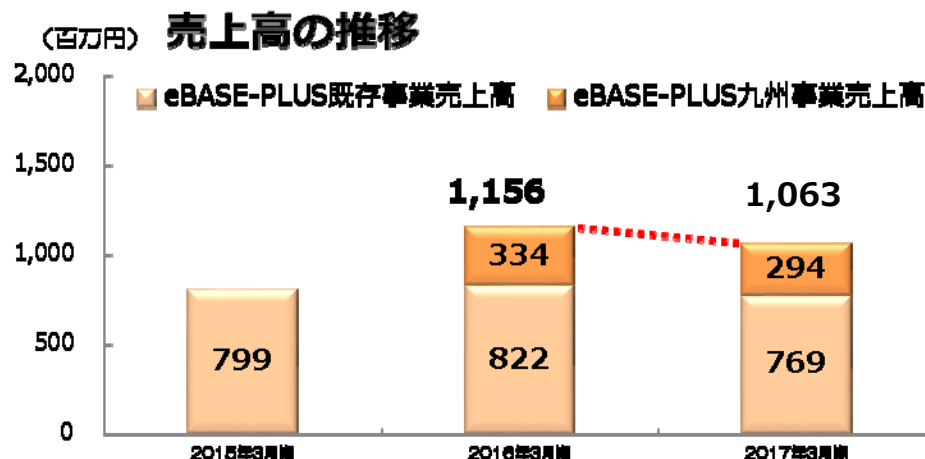
Ⅱ. 第1四半期期決算セグメント毎の概況/eBASE事業

2017年3月期 その他ソリューション別 今期計画とその進捗

業界	2017年3月期 計画	その進捗
eBASE ミドルウェア	・ パートナー企業の開拓 ・ 「ミドルウェアeBASE」を利用した受託開発案件の受注促進を推進 ・ 新市場創造 (基幹系システム市場)	・ 売上実績(2Q) : 18百万円 ・ CMS開発プラットフォーム「ミドルウェアeBASE」の機能強化を継続 ・ パートナー企業開拓の継続推進 ・ 個別企業ニーズに合致したCMS提案
その他	・ eBASEミドルウェアと連携したWebソリューションビジネスの推進	・ 売上実績(2Q) : 47百万円 ・ 顧客へeBASE環境開発及び提供に努めた ・ 既存顧客への継続案件の受注が主

Ⅱ. 第2四半期セグメント毎の概況/ eBASE-PLUS 事業

eBASE-PLUS事業（IT開発アウトソーシングビジネス）



総括

注1) 連結でのセグメント間取引については、相殺消去していません。
 注2) 2015年3月期 第4四半期より九州部門の事業譲受を行っております。

2017年3月期 施策

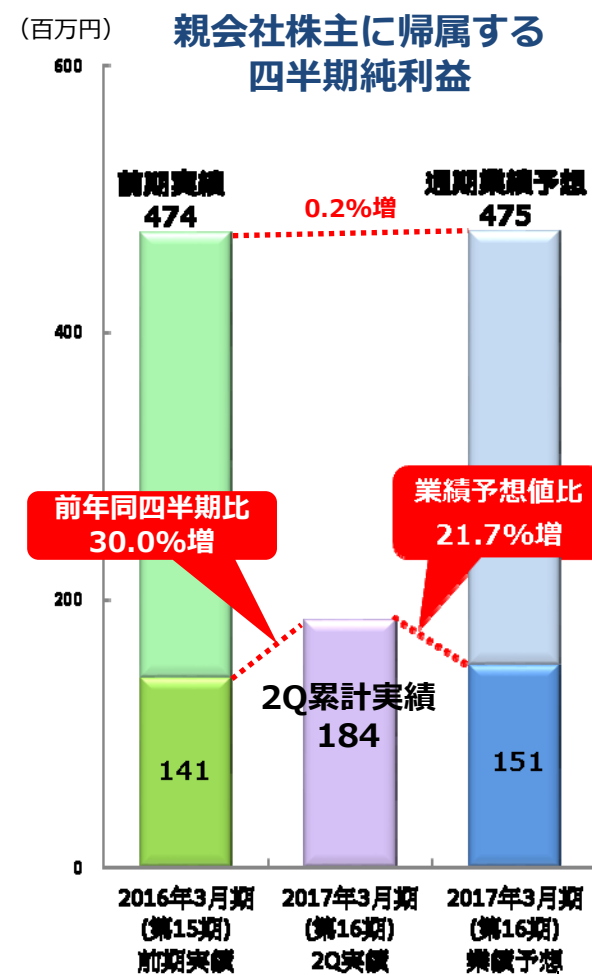
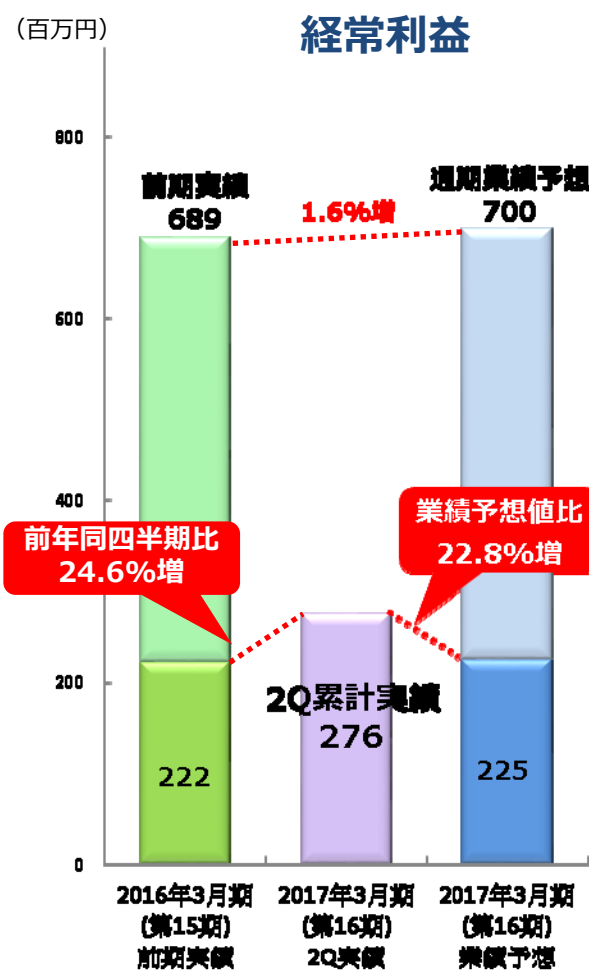
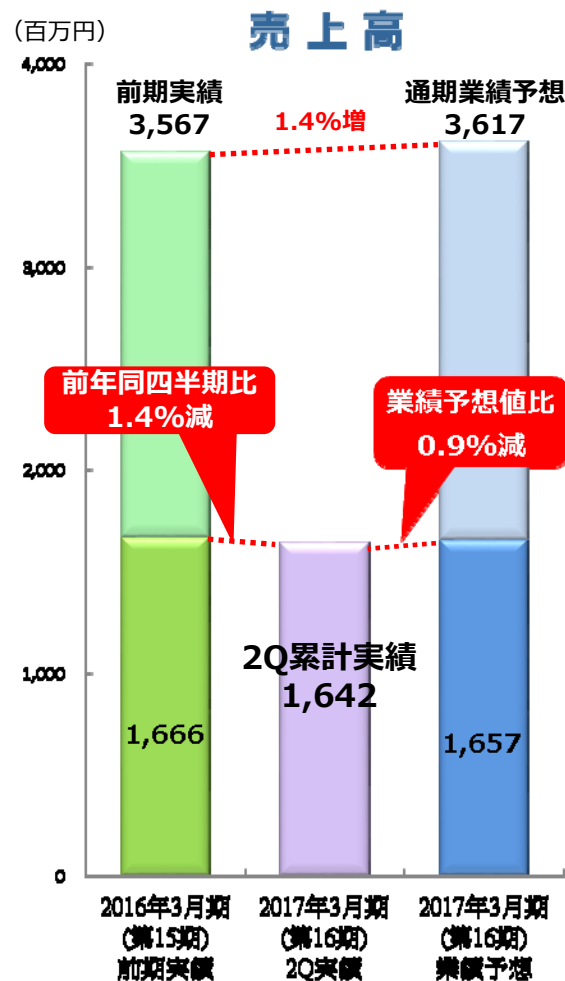
- ・ 既存IT開発アウトソーシングビジネスの維持
- ・ 安定衰退モデルから低成長モデルへの転換策検討
- ・ 改正労働派遣法対応でBP減少、正社員対応化
 ※BP：ビジネスパートナー（外部委託）
- ・ M&A案件の推進

その進捗

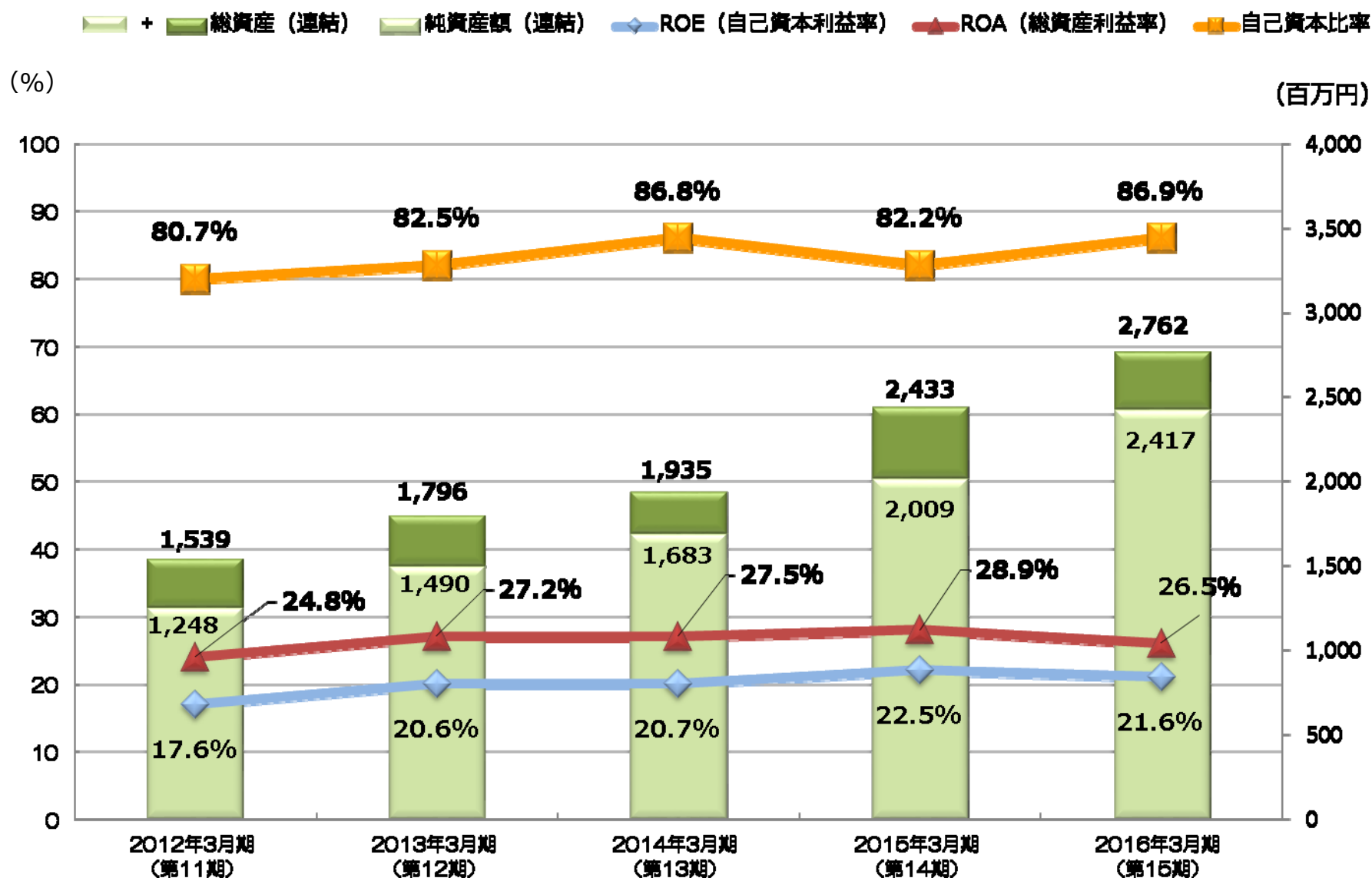
- ・ 売上実績（2Q）：1,063百万円
- ・ 顧客ニーズに沿った案件獲得に注力
- ・ 技術者のキャリアアップ研修の充実を図った
- ・ 人員調達計画は売り手市場の影響を受け未達
- ・ 退職による全体稼働工数の減少により売上ダウン
- ・ 九州事業継承における管理コストの特殊要因の影響により利益ダウン

Ⅱ. 2017年3月期の連結業績予想

- 2017年3月期(通期)
- 2017年3月期(2Q累計業績予想)
- 2017年3月期(2Q累計実績)
- 2016年3月期(通期)
- 2016年3月期(2Q累計実績)



IV. 2016年3月期の資本状況(資産、ROE及びROA等)の推移



本資料お取り扱い上の注意点

本資料は決算説明及び当社をご理解いただくために作成されたもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の業績予想ならびに将来予測は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、事業環境の変化等の様々な要因により、実際の業績は言及または記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となることをご承知おきください。

IRに関するお問合せ

管理部 06-6486-3955
management@ebase.co.jp